

～【新春】今年の年男・年女特集！～

2023年の年男・年女となった選手をピックアップしました！

広島のスポート界を担うラッキープレイヤーに注目！



ドラフラのラッキーボーイ・佐土原遼選手に迫る！



広島ドラゴンフライズの年男は背番号 23 番、SF (スモールフォワード) の佐土原遼選手だ。佐土原選手は 1999 年生まれで、今年で 24 歳になる。佐土原選手は去年の B.LEAGUE 2021-22 シーズンに広島ドラゴンフライズとプロ契約を果たした、プロ 1 年目の若手選手だ。去年 1 年間を通して佐土原選手は「チームに求められたプレーをすることはとても難しく、自己犠牲が必要だと思いました」とコメントを残した。

佐土原選手の 2023 年の目標は「5 人制バスケットと 3 × 3 の両方でよい結果を残す」というものだ。佐土原選手は、3 人で行うバスケットボールの 3 × 3 日本代表として活躍を見せている。3 × 3 の大会である「FIBA 3 × 3 NATIONS LEAGUE 2022 ASIA」ではチームの勝利に貢献する活躍を見せており、広島ドラゴンフライズでの B リーグキャリアでも、その経験を存分に発揮している。

そして、今年新たにやってみたいこととして「ゴルフ」を挙げており、ゴルフ場で見かける日が来るかもしれない。

(中元雅也)

Eスタのラストシーズンを優勝で飾りたい！

2022 年が終わり、いよいよ新しいシーズンへ向けての活動が近づいてきた。

2023 年は卯年。2023 年最初のトップスニュースだということで、今回は年男の大迫敬介選手に 2023 シーズンに向けての意気込みなど取材をした。



Q.1 2023 年シーズンはエディオンスタジアム広島ラストイヤーになります。2023 年シーズンに向けての抱負を教えてください。

大迫：優勝という良い形でエディオンスタジアム広島の最後のシーズンを飾りたいです。

Q.2 今年挑戦してみたいことはありますか。

大迫：2022 シーズンはルヴァンカップで優勝したので、2023 シーズンは天皇杯とリーグ戦のタイトルを獲得したいです。

Q.3 オフシーズンの過ごし方、楽しみ方を教えてください。

大迫：2022 年は連戦で忙しかったので、旅行でいろんなところに行きたいです。

Q.大迫選手が考える、2023 シーズンのキープレイヤーを教えてください。 また、その理由も教えてください。

大迫：棚田遼選手です。

2022 シーズンは多くの出場機会はなかったですが、短い時間の中でも試合ではチャンスを作っていました。練習でもシュート力などは日に日に増しています。2023 年はチャンスを貰えた時にはやってくれるのではないかとと思っています。

2024 年シーズンから新サッカースタジアムを使用するため、エディオンスタジアム広島ラストイヤーとなる 2023 年。スキップ体制 2 年目となる今シーズンは、卯年生まれのドウグラス ヴィエイラ選手、柏好文選手、川村拓夢選手、満田誠選手の活躍により、昨シーズン以上の成績を残すことを期待したい。

(馬明侑輝)





2023年・年男

山崎洸平選手・磯田健太選手に聞いてみた！

2022年7月から始まった第47回日本ハンドボールリーグも終盤にさしかかろうとしている。そこで今回は年が明けた2023年、年男であるワクナガレオリックの山崎洸平選手と磯田健太選手のお二人に抱負などを質問した。(以下、山崎洸平選手→山崎、磯田健太選手→磯田)

Q1. 2022年を振り返ってどんな年でしたか

A.山崎 実業団のプレーを肌で感じる事ができ、自分の通用する部分としない部分を経験することができました。

磯田 出場機会は増えたもののなかなか結果を出すことができず、悔しい一年でした。

Q2. 2023年の抱負を教えてください

A.山崎 出場機会を増やして安定したプレーヤーになることです！

磯田 2022年に培った経験を活かし、試合開始から終了までコートに立ち続け、DFの要になりチームに貢献することです！

Q3. 2023年に挑戦したいことは何ですか

A.山崎 プレースタイルの幅を広げたりアシストの数を増やしたりしていきたいです。

磯田 英語の勉強に挑戦したいです。

Q4. 年末年始の過ごし方（ルーティーン）を教えてください

A.山崎 釣りをしています。また、初日の出を見に行くことです。

磯田 実家の近くの堤防で朝日が昇るのを楽しみにしながら散歩をするのが年末年始のルーティーンです。

卯年である2023年は山崎選手、磯田選手の活躍と共にチームにとっても大きく飛躍する年になることを期待したい。
(照屋琴実)



山崎洸平選手



磯田健太選手

王座奪還へ、平井選手がチームを背負う！

2022/23 シーズンが開幕して二ヶ月が経過した。JT サンダーズ広島は現在 7 位に位置しており、王座奪還を目指し日々の練習に励んでいる。

今回は「チームの年男・年女」をテーマに 2023 年の年男 背番号 9 番の平井海成選手にインタビューを行った。平井選手には『2022 年を振り返って思い出・印象に残っていること』『2022 年でやり残したこと』『2023 年の抱負や目標』『2023 年に挑戦したいこと』の 4 つの質問をした。

まず最初に『2022 年を振り返って思い出・印象に残っていること』に対して平井選手は「自分自身 V リーガーとして初めて尽くしの年であり、とても印象に残る 1 年となりました。V リーグ初出場と初得点、そして 5 月の黒鷲旗では初めてのスタメン出場など V リーガーとして初めての経験が非常に印象に残っています」と語った。

次に『2022 年でやり残したこと』を伺ったところ「練習中や試合中などもっと声を出してプレーしたり味方を鼓舞したりすることができたのではないかと考えている。昨年と比べ練習がハードになり、声を出す余裕が作れなかったのもあるがチームを引っ張る選手になるためには周りに声をかけたり余裕があったりする選手でなければならないと思っています。2023 年では余裕ができる選手になり声を出してチームを鼓舞していきたい。」と語っている。



次に『2023 年の目標』を伺ったところ平井選手は「2023 年の抱負は自分の良さ、長所をとことん伸ばすことです。得意プレーの技術向上はもちろん、雰囲気作りの役割などプレー以外のことでも自分の良さをしっかり出してチームに必要な選手になっていきます。」と語った。

最後に『2023 年に挑戦したいこと』を伺った。これに対し平井選手は「自分自身がまだまだ未熟なのでプレーのことはもちろん、今まで自分からはしてこなかったコミュニケーションなどいろんなことに挑戦していきたいです」と意気込みを語った。

シーズン真っ只中の JT サンダーズ広島。平井選手には昨年の反省を活かしチームの雰囲気作りや味方の鼓舞などチームを支える土台として活躍してもらいたい。平井選手を始め 2023 年の JT サンダーズ広島に注目だ。

(山本彩乃)



年女・小早川志穂選手へインタビュー



2022 年シーズン、目標としていた4冠へあと一歩及ばなかったコカ・コーラレッドスパークス。2023 年、年女になる小早川志穂選手に2022 年の振り返りと2023 年への意気込みを伺うことができた。

Q1. 2022 年を振り返って

小早川：各大会で点を決めることが出来たのでとても嬉しかったです、優勝出来なかったことがすごく悔しかったです。

Q2. チーム加入初年度で感じたこと

小早川：1 年目と言うことで、初めは緊張や不安で消極的になってしまっていました。しかし、先輩方のアドバイスや試合を重ねるごとに積極的なプレーができるようになったと感じています。

Q3. 2023 年の抱負

小早川：2022 年よりもさらに得点を狙っていきたいです。また、4 冠を達成したいです。

Q4. 2023 年に挑戦したいこと

小早川：2022 年は個人スキルで勝負する場面が多くあったので、2023 年は連携プレーをより多く取り、得点に絡んでいきたいです

Q5. 応援してくださる方々へ一言

小早川：いつもたくさんの応援ありがとうございます。2023 年は2022 年に出来なかった優勝を目指し、個人的にもさらに得点にこだわっていききたいと思っています。これからもコカ・コーラレッドスパークスの応援をよろしくお願いします。

卯年である2023 年、小早川志穂選手やチームにとって飛躍した1 年になることを期待したい。(草野航太郎)



広島東洋カープ

勝負の1 年！

全員野球で勝利を目指す！

年が明け、カープは新たなシーズンをスタートさせた。ペナントレースの戦いは今年も激戦が繰り広げられるだろう。そんな中で、今年1 年、シーズンを駆け抜けていくチームを勢いづかせ、勝負運を上げてくれる役割は貴重な存在だ。そこで本号は、その年の年神様のご加護を多く受けると考えられ、縁起が良いとされている年男の選手に注目して記事を書いていく。また、日頃からカープを支えている球団スタッフの方についてもこの記事で紹介したい。

年男の選手として紹介するのは入団6年目を向かえる遠藤淳志投手だ。昨シーズン、開幕ローテーション入りを果たし自己最多の20試合に登板、17試合に先発した。今シーズン更なる成長が期待されている投手だ。1999年4月生まれの子は今シーズンを振り返って、「5年間で一番良い感覚で試合中、投げられた」と手応えを口にしている一方で勝ち星は4つと安定感があったものの数字が伸び悩んだ。秋季キャンプではストレートに磨きをかけており、新井新監督のもと今シーズンは更なる飛躍の年にしたい。遠藤投手自身も二桁勝利を目標に掲げ結果と数字にもこだわりたいとしている。年男の勝ち運にも期待しつつもカープを支える先発投手として安定感のあるピッチングに来季も注目していきたい。

そして球団スタッフの方として紹介するのは球団部一軍管理課長を務める河内貴哉さんだ。河内さんは試合中、試合前後のメディア対応や広報活動。入団会見や月間 MVP などの受賞会見、契約更改の会見などの調整。インスタグラムの投稿など数多くの広報活動を行っている。河内さんは仕事のやりがいについて、「小さい頃から野球をやっていて大好きな野球に携われる事に幸せを感じる、カープの魅力を身近に感じながら仕事ができる事にやりがいがある。」と語ってくれた。



また、今年の抱負について、「新井新監督のもと、チームのために少しでも力になれるようにがんばります！そしてカープファンの方に喜んでもらえるように、広報としてカープが盛り上がるような様々な事を工夫しながら発信していきたいと思います。」と熱く語ってくれた。最後に新たに挑戦したいことをお聞きしたところ、「他球団の広報の方などともっと連携を取ったり、様々なスポーツの情報を勉強したり、よりカープが盛り上がるようなアイデアや新しい企画を考えていきたいと思います。」と語ってくれた。

チーム付き広報を初めて8年目となる河内さん、普段は表に出ることが少ない仕事であるが、数多くの業務をこなしカープを支えている。今後、そういった活動にも注目しながら選手だけでなくカープ全体を応援していきたい。

チーム再建へ向け動き出したカープ。新井監督がチームを家族と表現するようにカープの選手、スタッフ含め、全体で一致団結し優勝に突き進んでほしい。

(西谷天司)



広岡選手

2023年の意気込みに迫る！

今年、年男である NTT 西日本ソフトテニス部の広岡選手にいくつかの質問に回答してもらった。

2023年の抱負については「国内タイトルの獲得と2022年に開催される予定であった、アジア競技大会が今年延期になったので、この大会で金メダルを取ることです」と熱い気持ちを見せてくれた。また現在、モチベーションにしていることを教えてくださいという質問に対して、「アジア競技大会に内定していますので、それに向けて日々頑張っています」と答えた。

最後に、2023年に挑戦してみたいことがあれば教えてくださいという質問に対して、「ソフトテニスだけではなく、他の競技をしてみたいです。」と意欲的な姿勢を見せた。

今後の広岡選手の活躍に目が離せない！！

(伊藤倫生)

チーム飛躍の年へ！藤川淳アンバサダー



2023 年一発目は「ヴィクトワール広島の年男」藤川淳アンバサダー特集！

藤川アンバサダーはヴィクトワール広島のアンバサダーとして、ホームゲームでの観戦ツアーやレース解説、イベント出演などの活動を行っている。

Q1.藤川アンバサダー的ロードレース競技の魅力を教えてください。

藤川：その日の天候、コンディション、チーム戦術など様々な要素によって展開が変わりやすいので結果が読みにくいところが魅力です！

Q2.ロードレース観戦初心者におすすめする競技の楽しみ方はなんですか？

藤川：初心者におすすめなのが「クリテリウム」です。

クリテリウムは基本平坦基調で 1 周が 1~2km のコースが多く、レース全体が見渡せるので飽きません。また、平坦基調に加えて集団走行でかなりのスピードが出るので迫力満点です！

Q3.2023 年のヴィクトワール注目選手を教えてください。

藤川：ずばり阿曾圭佑キャプテンです。

チームの選手一人ひとりにはそれぞれ役割があるのですが、阿曾選手はエースとしてアシスト選手の犠牲の上に立ち、チーム全員の期待を一身に背負って最終局面で勝負する存在です！

Q4.趣味が「お好み焼きを食べたり焼いたりすること」ということですが、おすすめのトッピングやアレンジはありますか？

藤川：生地には魚粉を混ぜたり、イカの姿フライをパラパラにして混ぜて食べたり、玉ねぎを入れたりと様々な工夫をしています。ですが、やはりシンプルな肉玉そばが一番好きです！

Q5.最後に、今年アンバサダー4年目を迎える藤川淳アンバサダーの今年の抱負をお願いします。

藤川：「コロナ禍の中で様々なレースやイベントの開催や実施が難しい状況でしたがようやく回復の兆しが見え始めました。もっともっとヴィクトワール広島を応援してもらえるようにイベントやレース会場でロードバイクの楽しさや素晴らしさを発信していきたいです！」

ヴィクトワール広島の年男として藤川淳アンバサダーの「飛躍」の年に期待したい。

(押川梨沙)

年男ランナーたちが2023年を駆け抜ける！



大内宏樹選手



森宗渚選手



三上雄太選手

年越しを前に駅伝シーズンに突入し、盛り上がりを見せている陸上界。中国電力陸上競技部も駅伝シーズンの戦いに向け日々練習に励んでいる。今回は2023年の年男・年女にあたる大内宏樹選手、三上雄太選手、森宗渚選手の3選手に2023年に向けた思いを伺った。

以下、大内選手→大内

三上選手→三上

森宗選手→森宗

Q1 2023年の抱負を教えてください。

大内：今年は何もかも上手いかず苦しいシーズンでしたが入部1年目となる2022年で学んだことを2023年に活かしていきたいです。

三上：1年間を通して怪我なく走り切る。怪我をしてしまうと気持ちも下がりやすくなったりするので継続した練習をしていきたいです！

森宗：厄年という事で、色々悪い事が起こりそうなので、まずは健康第一で過ごせるようにしたいです。怪我、病気などに気を付けて多くを望まず、1日1日を大切に過ごしていきたいです。

Q2 2023年に挑戦してみたいことはありますか？

大内：マラソン挑戦！マラソンは入部前からやりたいと思っていたので、しっかり練習をして結果を残せるようにしたいです。

三上：マラソン！1年目で大体の練習の流れなども分かったので、長い距離の練習をしっかり積んで2年目から目標にしていたマラソンをやりたいです。

森宗：マラソンに挑戦する。2022年は調子の浮き沈みはありましたが、怪我なく練習を積めたので、2023年も怪我無く練習を継続し、マラソンに挑戦してみたいです。

Q3 2023年のスローガンがあれば教えてください。

大内：「這い上がれ」です。この1年は何も結果を残すことなく落ちるとこまで落ちたので2023年は泥臭く練習をして這い上がっていききたいです。

三上：「じっくりゆっくり。」1年目は何かと忙しく流れも掴めていなかったが、2年目からはゆとりも出てくると思うのでその分手につかなかったことや見えてなかった部分にも焦点を当てていきたいです。また、マラソンに向けても距離を意識して焦らずじっくりゆっくり練習していきたいです。

森宗：「改過自新」です。これは「自分の過ちを認めて新たに出発する」という意味ですが、自分に置き換えるとこの5年間やって来たことを振り返り、再び新しく構築するという意味になります。2023年は自分の経験を振り返りしっかり結果を求めて行きたいという事でこのスローガンに決めました。

Q4 年末年始のルーティーンを教えてください。

大内：年末年始は年越しそばを食べたり、お雑煮を食べています！ 近年は箱根駅伝などがあったため、なかなか正月らしいことはできていません。

三上：駅伝でテレビの中からみんなに走る姿でご挨拶する！ 年始は何かと忙しくなってしまうので今まででお世話になった人たちに元気に走る姿を見せたいです。

森宗：ニューイヤー駅伝です。入社して5年経ちますが年末年始は毎年群馬にいます。

各選手、2023年はマラソンに挑戦してみたいという気持ちを話してくれた。近年、日本の長距離界、マラソン界は世界と戦えるレベルへと着実に迫ってきている。日本の長距離界、マラソン界を中国電力陸上競技部の選手が盛り上げてくれることを期待し、応援していこう。 (赤木宏旭)



2023年・広島ガスバドミントン部の注目選手は！？

2022年が終わり、2023年が開けました。本年は卯年にちなみ、年女の石村亜美選手、志波寿奈選手、村上知紘選手の3選手にインタビューした。ラッキーガールの心境に注目！

以下、志波寿奈選手→志波

石村亜美選手→石村

村上知紘選手→村上

Q.2022年はどのような1年でしたか。

志波：「新たな発見や経験ができた1年。」

石村：「ほとんどの試合が開催されて嬉しかった1年でした。」

村上：「体調を崩してしまい、なかなか試合に出られず悔しい思いをしましたが、様々な部分で自分を見つめ直す事ができた1年でした。」



石村亜美選手



志波寿奈選手



村上知紘選手

Q.2023 年の抱負を教えてください。

志波：「2023 年はどんなに強い相手でも負けない選手になりたいです。」

石村：「2022 年ではあまり勝つことが出来なかったので、どんな試合も勝利したいです。」

村上：「常に挑み続ける 1 年にしたいです。」

Q.2023 年に挑戦してみたいこと

志波：「食事面での栄養を考えながら節約していくことに挑戦したいです。」

石村：「大人な女性になることです。」

村上：「怪我をしないための体作り。栄養バランスを考えて食事を作り、なるべく自炊をするようにしたいですね。」

Q.年末年始はどのように過ごしていますか

志波：「家族と過ごして地元の友達と会います。」

石村：「実家で甥っ子やペットと遊んでいます。」

村上：「家族と旅行に行って過ごします。」

石村亜美選手、志波寿奈選手、村上知紘選手、ならびに広島ガスバドミントン部にはウサギのように飛躍した一年にしてもらいたい。
(三枝知季)



高く跳べ！イズミメイプルレッズの2023年

2023 年は卯年。イズミメイプルレッズには 6 名の年女選手がいる。今回、年女選手 3 名にそれぞれインタビューを行った。

1 人目は、No.7 新沼未央選手。

Q.『残りの試合への意気込み』と『今年の抱負』

新沼：「合宿を重ねて、ディフェンス、オフェンスともに連携、強さが出ていますと感じます。自分自身としてももっと力をつけ、少しでもチームの勝利に貢献できるように頑張ります！」



2 人目は、No.19 辻菜乃香選手。

Q.『優勝争いに向けてチームの課題点とは何か』と『今年の抱負』

辻：「課題は、競った試合展開の時に相手を引き離す力が無い所。一戦必勝のために百万一心で頑張ります！」

3人目は、No.23 山本春花選手。

Q、『後ろから見たチームの雰囲気』と『今年の抱負』

山本：「DFの連携が良くなり、チームのまとまりを感じます。個人としても力を出し切り、残りの試合勝ち切れるように頑張ります！」。

それぞれ強い意気込みを語ってくれた3名の選手はもちろん、選手・スタッフ・サポーター全員が一丸となって今年もイズミメイプルレッズを盛り上げていくであろう。残り試合も少なくなってきた、女子ハンドボールは益々熱い試合展開が予想される。一戦一戦大事に戦っていくイズミメイプルレッズの勇姿に目が離せない！
(太田和)



その他年男・年女選手はコチラ！

◎広島東洋カープ

中村奨成選手 藤井黎来選手 松本竜也選手 黒原拓未選手 大道温貴選手

◎NTT 西日本ソフトテニス部

長江光一選手 本倉健太郎選手

◎サンフレッチェ広島

川村拓夢選手 ドウグラス・ヴィエイラ選手 満田誠選手 柏好文選手

◎イズミメイプルレッズ

中村歩夢選手 井内理絵選手 石川莉子選手

今シーズンも注目選手から目が離せない！

2023年もトップス広島・トップスニュースを よろしくお願いします！！

スポーツを通じた社会貢献

賛助会員 募集中

スポーツを通じた社会貢献活動への 貴社・団体様の参画！

温かいご支援の一つひとつが、夢と潤いのある「スポーツ王国ひろしま」への力となります。スポーツを通じた社会貢献へ継続的に寄与していくため、当NPO法人の事業目的に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。多くの皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けてまいりたいと存じます。

お力添えくださいますよう、心からお願い申し上げます。

■年会費(企業・団体様)

一口**50,000**円(何口でも可)

■振込先

広島銀行 本店営業部

口座名

特定非営利活動法人 広島トップススポーツクラブネットワーク

理事長 松田 真二

口座番号:普通預金 2774313

ご支援いただいている賛助会員様

RCC中国放送

株式会社RCC文化センター

学校法人石田学園 広島経済大学

有限会社伊藤久芳堂

株式会社インパルスコーポレーション

株式会社NTTドコモ 中国支社

鹿島建設株式会社 中国支店

株式会社桐原容器工業所

呉市

呉バレーボール協会

シンコースポーツ株式会社 中国支店

セキスイハイム中四国株式会社 広島支店

医療法人せのがわ

株式会社体育社

竹原市

株式会社千鳥

中国ジェイアールバス株式会社

株式会社中国新聞アド

株式会社中国新聞社

中国労働金庫 広島県営業本部

TSSテレビ新広島

ドリームベッド株式会社

西日本旅客鉄道株式会社 広島支社

株式会社日本トリム 広島支社

株式会社日本旅行広島支店

株式会社大野石油店

橋本燃料株式会社

株式会社ひろぎんホールディングス

株式会社広島朝日広告社

広島菅公学生服株式会社

広島県

広島市

広島信用金庫

広島テレビ放送

広島ホームテレビ

株式会社ヒロタニ

公益財団法人福山市スポーツ協会

平安堂梅坪(田中電機工業G)

株式会社ポブラ

特定非営利活動法人ボラーノ

前田食品(マリーナロッジBIGFLAG)

マツダ株式会社

株式会社マリーナホッププロパティ

ミサワホーム中国株式会社

株式会社メディカルイン

株式会社モルテン広島・四国支店

有限会社安田損害サービス

株式会社有文社

株式会社ユニサス

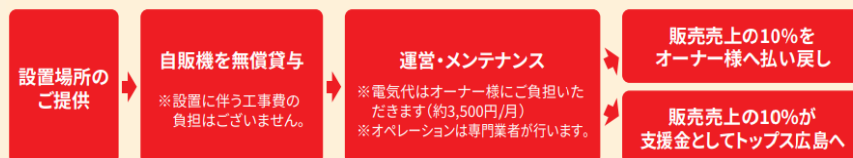
株式会社良和ハウス

株式会社ルネサンス

中国総合信用株式会社

トップス広島支援自販機 オーナー募集中!!

トップス広島では、支援自販機を設置させていただき、売上の一部をトップス広島の支援金とさせていただき、「トップス広島支援自販機オーナー」を募集しております。



目的 売上金収入により活動の拡大を図り、さらなる「スポーツを通じた社会貢献」に寄与する。

対象 トップス広島、および広島のスポーツを応援していただける企業・団体・一般の方。

※ロケーション、採算性等の条件により設置いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

支援自販機について、詳しくは下記までお問い合わせください。

私たちの名前=トップス広島

正式名称:NPO法人広島トップススポーツクラブネットワーク

「広島」という一つの「すそ野」を持ついくつかのトップススポーツクラブがネットワークをつくり、広島のスポーツ全体を盛り上げていきたいという願いを込めました。「トップス広島」の名前が、県民・市民の皆さんに親しまれるよう努力していきます。

マークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニアの選手がトップの選手を目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。



NPO法人 広島トップススポーツクラブネットワーク

事務局 〒734-0007 広島市南区皆実町2-8-42 猫田記念体育館1F

TEL:082-254-2012 FAX:082-251-5712 <https://www.tops-h.net/>

